

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 2 年度第 4 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画 推進等委員会
議題及び議題毎 の公開又は非公 開の別	1 第 8 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田 市シルバープラン）の策定について（素案）（公開） 2 地域密着型サービス等（認知症対応型共同生活介護及び 介護予防認知症対応型共同生活介護）事業所の指定更新につ いて（報告）（非公開） 3 その他
日 時	令和 2 年 11 月 18 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 35 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階大会議室
出席者氏名	会 長 鈴木 隆一 委 員 土田 隆司 荒木なおみ 渡邊 隆 豊田 義雄 大用菜穂子 遠山 康雄 中村 綾子 松田美奈子 山崎 美紀 山名 裕里 古澤 等 矢野 博 間中 直江 栗山 純一 篠田恵美子 藤井 愛子 宮田恵美子 森田 邦子 三輪 秀民 小山三恵子 高橋 武宜 太田 央子 内藤 公子
欠席委員氏名	委 員 秋田 茂 山中 邦枝 須賀田貞彦 谷田貝多吉 柳田 信也 白島 智子
事 務 局	直井 誠（保健福祉部長） 富山 芳則（保健福祉部次長兼生活支援課長） 小林 智彦（保健福祉部参事兼障がい者支援課長） 池田亜由美（保健センター長兼子ども支援室長） 田中 洋介（社会福祉協議会事務局長） 大月 聡（高齢者支援課長） 善方 浩子（高齢者支援課長補佐） 秋山 敦哉（高齢者支援課高齢者支援係長） 町田 長之（高齢者支援課いきがい施設係長） 宇佐見有希（高齢者支援課主事）

	渡邊 宏治（介護保険課長兼地域包括支援センター長） 東風谷 一（介護保険課長補佐） 田嶋 秀志（介護保険課介護予防係長） 西野 寛史（介護保険課介護給付係長） 中山 理恵（介護保険課介護認定係長） 真屋 広希（介護保険課地域包括支援センター主任主査） 林 晋也（介護保険課主任主事） 石川よし子（介護保険課主事補） 菊原 啓太（介護保険課技師）
傍 聴 者	0名
非公開の事由	地域密着型事業所等の指定等に関して、個人情報に関する箇所があること及び事業所の指定に関して公平な審議を行うため
議 事	令和2年度第4回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果（概要）は次のとおりです。
鈴木会長	令和2年11月18日 午後1時30分、開会を宣言 推薦団体より新たに豊田委員が就任された旨を報告した。
介護予防係長	欠席の委員を報告した。 発言及び会議の公開と傍聴について説明した。 議題2について非公開の審議となる旨を報告した。
鈴木会長	会議の成立を報告した。
鈴木会長	議題1「第8期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）の策定について（素案）」、事務局から説明を受けた。 意見・質問等を委員に問うた。
山名委員	地域ケア地区別会議において、生活支援のサービスが非常に少ないため民生委員やケアマネジャーに生活支援の負担がかかっているという現状がある。そのため④「東京理科大学との共同研究の結果、多様なサービスの導入は見送ることとしました」という記載について、「見送り」ではなく「行政として基盤づくりを進めていきます」といった文言にすることを検討していただきたい。

介護保険課長	<p>生活支援体制の整備については、素案 97 ページの④「生活支援体制整備事業」で触れている。今後の方向としては、生活支援コーディネーターの活用を図り、各地域に必要な社会資源や住民の集いの場、各地域に応じた地域づくりの体制整備を通して施策へ繋げていきたいと思う。</p> <p>東京理科大学との共同研究については、介護予防・生活支援サービスの多様なサービスの導入について記載したもの。第 8 期期間中に、第 9 期以降の多様なサービスの導入について検討していく必要があると考えている。</p>
鈴木会長	<p>議題 1 「第 8 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）の策定について（素案）」、事務局から引き続き説明を受けた。</p> <p>意見・質問等を委員に問うた。</p>
矢野委員	<p>「高齢者に配慮した防災・防犯・交通安全対策の推進」について、今年の避難行動要支援者名簿を送付されなかった理由を教えていただきたい。次に、避難行動要支援者をサポートする自主防災組織を持っていない自治会に対して、どのように対応されるのか教えていただきたい。最後に、民生委員・児童委員や社会福祉協議会に対してどのようにサポートをされているのか教えていただきたい。</p>
高齢者支援課長	<p>避難行動要支援者名簿については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年度の配布は見送っていた。また、ハザードマップの改定があり、避難所が減少し、避難行動要支援者計画について取扱いを抜本的に見直す必要性が出た。今後は避難行動要支援者に携わる全ての方々の御意見を伺いながら抜本的な見直しをしていく。</p>
矢野委員	<p>(2)「基本目標」についての具体的な内容と方向性を教えていただきたい。次に、「コミュニティの一員であると実感できるような役割意識や参加意識の醸成につながる社会的な環境の整備を推進します」については、どのようなイメージで社会的な環境の整備を考えているのか教えていただきたい。</p>

介護保険課長	<p>「地域コミュニティの一員」については、自治会の方々に限るということではなく、社会全体で高齢者の方を支援していくという事である。コミュニティの考え方としては、住まいを中心とした地域包括システムの中で、高齢者の方もできる範囲で参加していただくという意味で捉えている。</p>
鈴木会長	<p>他に意見・質問等を委員に問うた。</p>
三輪委員	<p>16 ページ「本計画と持続可能な開発目標（SDGs）とのつながり」について、SDGs という言葉はなじみがないため十分な説明が必要だと思う。</p> <p>次に3 ページ④「サービス付き高齢者向け住宅」について、サービス付きという表現は介護サービスが付いていると誤解を与え、今後の介護保険計画に問題を生じさせる可能性がある。</p> <p>最後に、「基本目標4」の「振り込め詐欺」という表記について、現在ではアポ電詐欺や還付金詐欺など手口が多様に変化しているため、振り込め詐欺等を含む特殊詐欺として、まとめた表現にした方がよいのではないかと思う。</p>
介護保険課長	<p>SDGs の説明については、素案 64 ページの（1）「持続可能な開発目標（SDGs）とは」に記載している。また、これ以上の説明は計画の本題から外れてしまう可能性があるため控えさせていただきたい。</p>
高齢者支援課長	<p>「振り込め詐欺」という表現については、委員の御指摘のとおり表記の修正を検討させていただく。次に「サービス付き高齢者向け住宅」については、介護保険制度の中で特定施設入居者生活介護を増やす意図があるのではないかと思う。</p>
鈴木会長	<p>他に意見・質問等を委員に問うた。</p>
内藤委員	<p>施設整備計画について、新しく整備された特別養護老人ホームはすべてユニット型の個室であり、施設入所で最も負担になるのが費用負担であるというアンケート意見があった。多床室の整備をすることについてはどのような計画を立てら</p>

<p>高齢者支援課長</p>	<p>れているのか教えていただきたい。</p> <p>施設の新設については、原則として行わないが、待機者数の推移などを見定め、必要がある場合には施設整備を検討していく。多床室の整備については、施設の管理者の方からも用意・整備した方がいいのではないかという意見を頂いているため積極的に検討していきたいと考えている。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>他に意見・質問等を委員に問うた。 意見・質問等無し。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>議題1について、了承として良いか。</p> <p><異議無しの声有り></p> <p>午後2時45分、閉会を宣言</p>